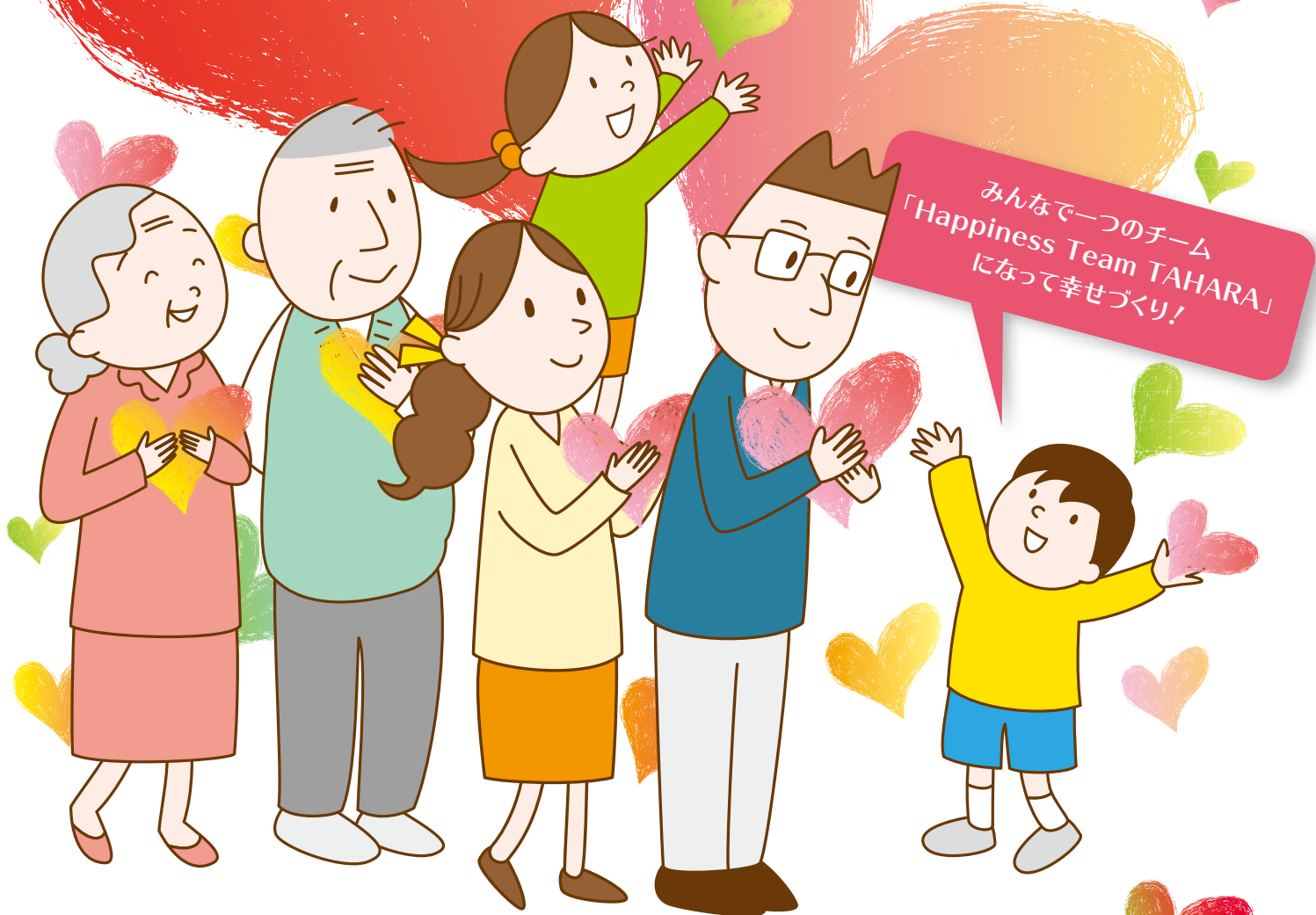


田原 『幸せづくり』

プラン
PLAN

あなたの幸せは今、何点？



田原市



市民の幸福度の現況

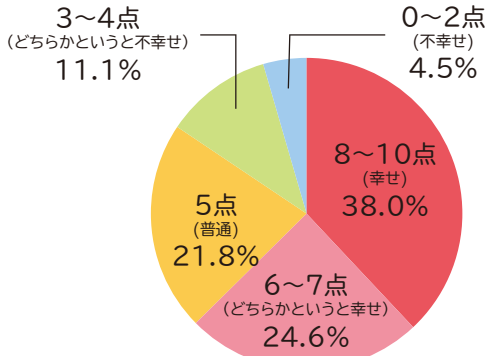
あなたの「幸せ」は今、何点？

幸せについて
中学生の
みなさんに
聞いてみました！



Q1 今現在、あなたの「幸せ」の程度を0～10点で評価すると何点ですか？

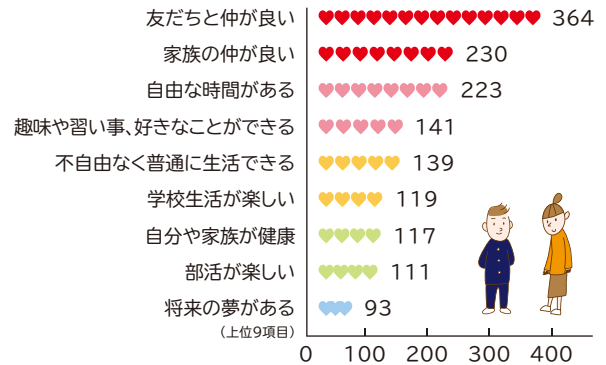
回答者数=560



約6割の人が
「幸せ」「どちらかというと幸せ」と感じています。

Q2 あなた自身が「幸せ」であるために、重要だと思うことは何ですか？ ※○を3つまで

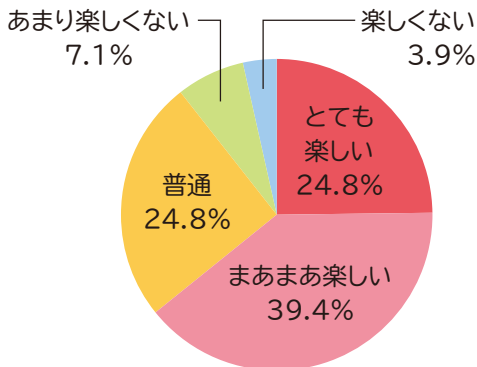
回答者数=560



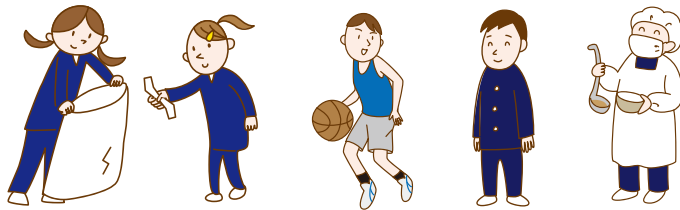
多くの人が、
友だちや家族とのつながり、
また、自由な時間があることが
「幸せ」のために大切と感じています。

Q3 あなたは学校生活を楽しいと感じますか？

回答者数=561

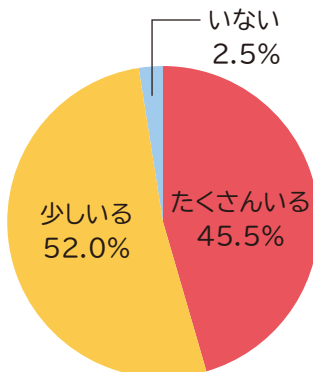


楽しいと感じている人が約6割いる一方で
楽しくないと感じている人が約1割います。



Q4 あなたには信頼できる友だちがいますか？

回答者数=560



+

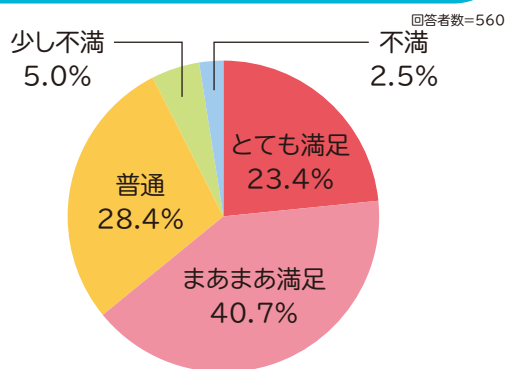
Q5 あなたは過去1年の間にいじめを受けて悩んだ経験がありますか？

回答者数=560



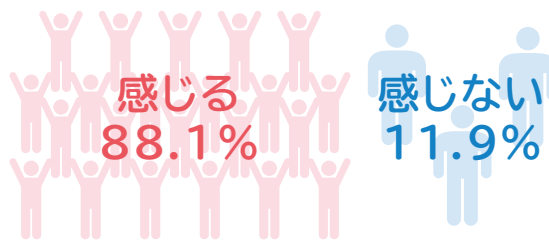
ほとんどの人が信頼できる友だちがいると回答した一方で
約1割の人が過去1年の間にいじめを受けた経験があります。

Q6 あなたは普段の生活全般に満足していますか？



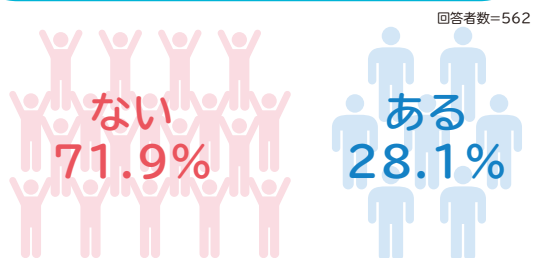
約6割の人が
普段の生活に満足しています。

Q7 あなたは親や家族から大切にされていると感じていますか？



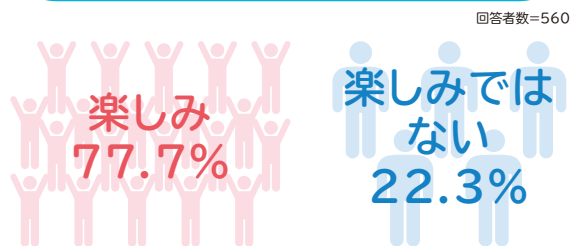
約9割の人が
家族から大切にされていると感じています。

Q8 あなたは自分や家族の健康で心配や不安がありますか？



約3割の人が自分や家族の
健康について不安を抱えています。

Q9 あなたは自分の10年後の将来が楽しみですか？



約8割の人が
将来が楽しみだと回答しています。

中学生の声

あなたにとって「幸せ」とは何ですか？

みんなが楽しく、仲良く、一緒にいること。一緒にご飯を食べられることが幸せ。
田原中学2年生

夢に向かって全力でできること。それを親が応援して協力してくれること!!
福江中学2年生

家族がいて、友だちがいること。早く帰りたいと思う我が家があること。
伊良湖岬中学2年生

頼れる家族や友だちがいて目標に向かってがんばれることです。
東部中学2年生

回答数について

これは、平成25年9月に市内の中学2年生を対象として行った「幸せに関するアンケート」の結果の一部です。回答をいただいた565名の中学生のみなさん、ご協力ありがとうございました！

※グラフ中の「%」は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、単数回答の設問であっても合計が100%にならない場合があります。



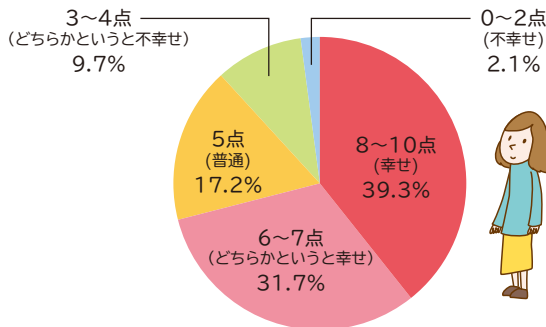
市民の幸福度の現況 あなたの「幸せ」は今、何点？



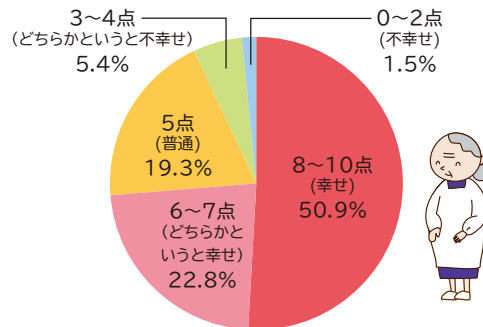
幸せについて
20歳以上の
市民のみなさんに
聞いてみました！

Q1 今現在、あなたの「幸せ」の程度を0～10点で評価すると何点ですか？

■20～59歳 回答者数=698



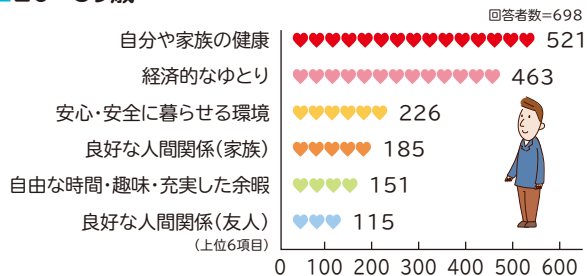
■60歳以上 回答者数=533



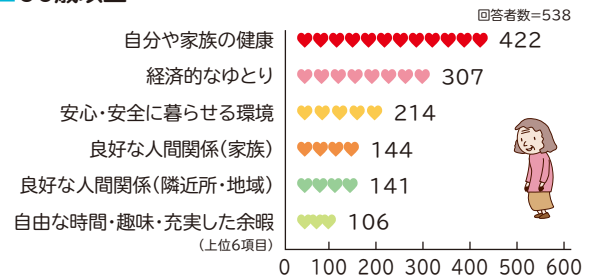
「幸せ」と感じている割合は20～59歳の人と比べて、**60歳以上**の方が高くなっています。

Q2 あなた自身が「幸せ」であるために、重要だと思うことは何ですか？ ※○を3つまで

■20～59歳 回答者数=698



■60歳以上 回答者数=538

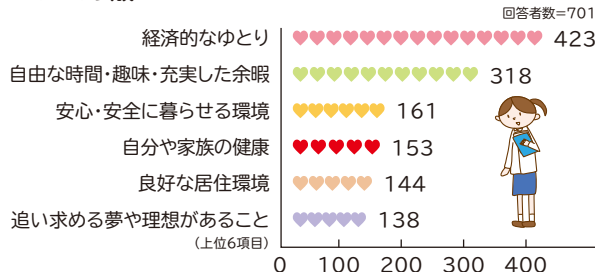


健康や経済面の心配がなく、安心・安全な暮らしを「幸せ」と感じている人が多くなっています。

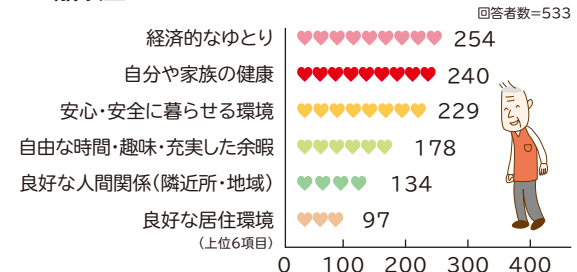
なお、20～59歳の人と比べて、60歳以上の方は地域の中での人間関係を重視するという意見がより多く見られました。

Q3 あなたの幸福度をさらに高めるために、今足りていない(さらに高めたい)と思う事項は何ですか？ ※○を3つまで

■20～59歳 回答者数=701



■60歳以上 回答者数=533

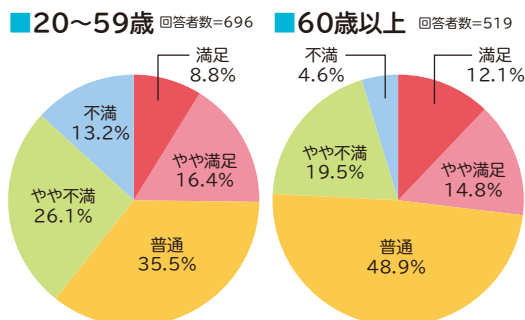


多くの人が**よりゆとりのある生活**を望む傾向にあります。

なお、20～59歳と60歳以上を比べると、前者は追い求める夢や理想があること、後者は地域の中での人間関係の充実を望むという意見がより多く見られました。

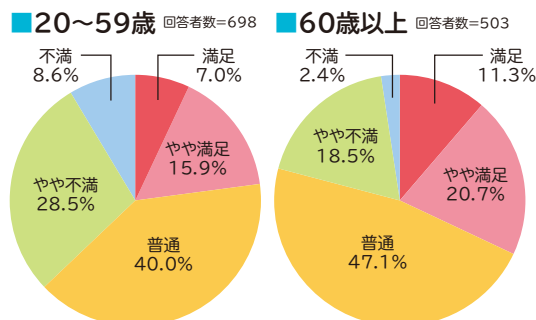
Q4 あなたの状況について教えてください。

● 経済的なゆとり



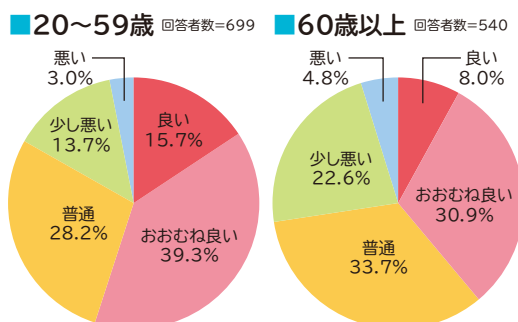
「やや不満」「不満」と回答している割合は60歳以上の人と比べて、
20～59歳の人の方が**約4割**と高くなっています。

● 自由な時間・趣味・充実した余暇



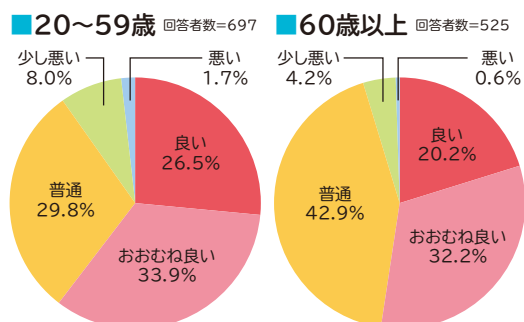
「満足」「やや満足」と回答している割合は20～59歳の人と比べて、
60歳以上の人の方が**約3割**と高くなっています。

● 自分や家族の健康状態



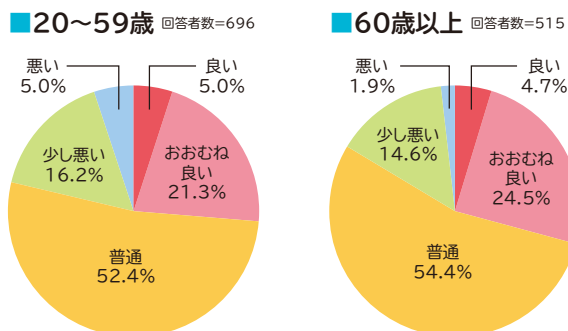
「少し悪い」「悪い」と回答している割合は20～59歳の人と比べて、
60歳以上の人の方が**約3割**と高くなっています。

● 家族との人間関係



9割以上の人が「良い」「おおむね良い」「普通」と回答しています。

● 安心・安全に暮らせる環境(交通安全、防犯対策、自然災害への備え)



約8割の人が「良い」「おおむね良い」「普通」と回答しています。



回答数について

これは、平成25年7月に市内の20歳以上を対象として行った「市民意識調査」の結果の一部です。回答をいただいた1,285名(20～59歳 707名、60歳以上 552名、他年齢不明)の市民のみなさん、ご協力ありがとうございました！

※グラフ中の「%」は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、単数回答の設問であっても合計が100%にならない場合があります。



なぜ今「幸せ」が注目されているの？

田原市が「幸せづくり」に取り組む理由

「幸せ」の状態は人それぞれ。思い浮かべるかたちも一人ひとり、みんな違います。

一昔前
までは

「テレビや自動車が欲しい!」

「便利な暮らしをしたい!」という**共通の目標**が市民にあり、
行政も「道路建設」など地域の開発整備に力を注いでいました。

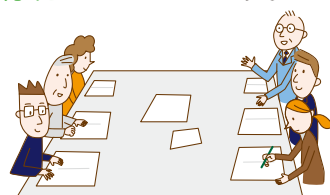


今

私たちの周りに多くの物があふれていくにつれ、人々は
「物質的な豊かさ」に加え、「こころの満足度」を求めるよう
になりました。みんなの**価値観が多様化**してきたのです。

その結果

行政の役割も「地域のモノを増やしていく」だけでは
足りなくなっていました。



そこで

田原市は、いつの時代もみんなの**共通の願い**である「**毎日
幸せに暮らせること**」を、まちづくりの目標とすることに
しました。

市民と行政がそれぞれの役割分担のもとで、
手を取り合い一つのチームとなって、
みんなが「幸せなまち」をつくっていくために
今、はじめの一步を踏み出しましょう。
「幸せづくりチーム田原」のスタートです!



Happiness
Team TAHARA

目次

市民の幸福度の現況

あなたの「幸せ」は今、何点?
(中学生、市民アンケート結果) … P1

行政の取り組み

環境づくりの目標イメージと目標指標 … P7
行政各部署の取り組み目標! … P9
職員一人ひとりの取り組み目標! … P11
取り組みをもっと進めるために … P12

PLAN策定の
流れ … P18

総合計画における
市民幸福度の位置づけ … P19

市民の取り組み

幸せづくりの主役は自分自身! … P13
大切な人や周りの人たちも幸せに! … P15

市民と行政の 目標と役割分担

市民みんなの
「幸せ」に向けて … P6

PLAN推進のために

これからどうしていくの?
… P17

取り組みと指標の
体系イメージの整理 … P20

PLAN策定に
関わっていただいたみなさん … P21

資料編

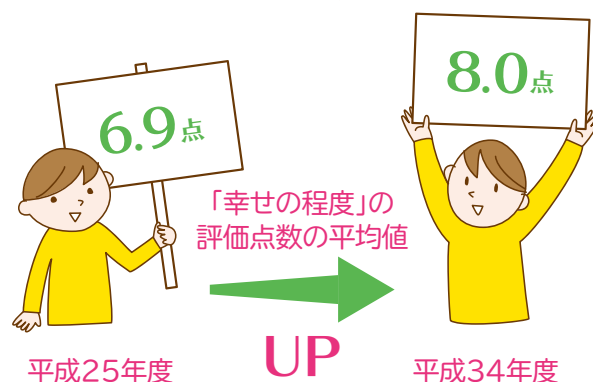
市民と行政の目標と役割分担 市民みんなの「幸せ」に向けて

最終目標のイメージ まちづくりの理念



目標達成のイメージ 市民幸福度指標

中学生アンケートと市民意識調査の質問『今現在、あなたの「幸せ」の程度を0～10点で評価すると何点ですか?』に対する回答の、評価点数の平均値を市民幸福度指標とします。この指標が、田原市の幸せづくりの進み具合を測る“ものさし”になります。



市民のみなさんと市役所の 役割分担のイメージ

■幸せづくりの主役はあなた自身

一人ひとりが思い浮かべる「幸せのかたち」はそれぞれ違い、その全てを行政が実現していくことはできません。あなた自身が自分の幸せの実現を目指し、さらに身近な人の幸せを高めていきましょう。

■行政の役割は？

市民のみなさんが幸せを目指すことができるよう、**「田原市民が幸福を追求できる環境※」**を整えていきます。また、自分が幸せではないと感じている人を減らしていくことなどを行政の役割とします。

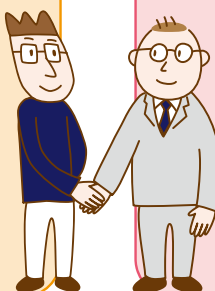
※田原市民が幸福を追求できる環境とは…

もし田原市が「道路が穴だらけ」「学校でまともな教育が受けられない」「いたるところで交通事故や犯罪が発生する」という環境であれば、市民が幸せを目指そうと思っても、幸せにはなれません。市民が幸せになるために必要な、基盤となる環境を「田原市民が幸福を追求できる環境」と位置づけています。



市民の取り組み

- 自身の幸せとは何か考え、その実現に向けて努力する。
- 仕事や活動、普段の生活などを通じて、だれにどのような幸せをつくりだすことができるのかを考え、その取り組みを増やしていく。
- 地域や企業も同様に、自分たちに何ができるのかを考え、地域住民の結びつきを強めるための取り組みや働きやすい環境づくりをする。



行政の取り組み

- 田原市民が幸福を追求できる環境の整備と、幸せではないと感じている人を減らすため、全部署・全職員で市民の幸せづくりを進めていく。
- 市民と行政職員に幸せづくりの取り組みを広げるため、啓発活動やPLANの見直しをする。



行政の取り組み

環境づくりの目標イメージと目標指標

目標イメージ

「田原市民が幸福を追求できる環境」を整えること

一人の田原市民が生まれ、入学・就職・結婚・出産などのさまざまな経験を経て、そして人生の最後を迎えるまでの一連のライフステージ(子ども→社会人→高齢者)。そのなかで、次のような環境が整っていれば、幸せを追い求めることができ、生涯を通じて「幸せだった」と感じられるものと考え、田原市民が幸福を追求できる環境の整備を目指します。

◇安定した生活を送ることができる仕事を持ち、仕事や日々の生活に充実感を感じながら、家族が仲良く健康でゆとりを持って過ごすことができる環境

◆自己の人間的な成長を目指すとともに、地域や他者との関わりのなかで多様な人間性を認め合える豊かな人間関係を築くことができる環境

※◇は、市民の実際の幸福感の感覚に近い、個人として生活するうえで必要と思われる環境のイメージ。

◆は、他者とのつながりを持ち、個人としての生活の枠から一歩外に踏みだして努力するといった、社会の一員として生活するうえで必要と思われる環境のイメージ。

◇家族・友だちと仲良く、健康でのびのびと過ごすことができる環境

◆家庭・学校教育、地域とのつながりから「生きる力」「社会性」「郷土への誇り」を育み、将来の夢に向けて羽ばたく力を養うことができる環境



子ども



社会人



高齢者

◇趣味や生きがいを持ち、健康で安心・安全に過ごすことができる環境

◆地域活動などを通じて多くの世代とつながりを持ち、家族・地域・仲間との関わりのなかで自身の「知識」「技術」「経験」を発揮できる環境

市民のみなさんの声

田原「幸せづくり」市民チームのみなさんとの意見交換会より

子どものころに、マナーや思いやり、生活に必要な知識を身に付けられる環境が必要だね。



社会人では、多様な価値観を受け入れられ、ありのままの自分が表現できる環境・認められる環境が欲しい!

高齢者は、地域の伝統や知恵を子や孫、若い世代に伝えることができる環境が必要じゃないかな。

目標イメージ

「幸せではないと感じている市民」を減らしていくこと

行政の役割としては、幸せと感じている人たちの幸福感をさらに高めていくことよりも、今現在、幸せではない状態にあって、自分の努力だけでは幸せになることが難しい人たちを手助けすべきと考えています。

市民全員の「田原市民が幸福を追求できる環境」を整えていくなかでも、特に、幸せではないと感じている人の幸福感を高める取り組みに力を入れていきます。



中学2年の女の子
中学生アンケート結果より

私の幸せ評価：0点

私には信頼できる友だちもないし、家でも孤独で、将来も楽しみに思えません…。



40歳代の男性
市民意識調査結果より

私の幸せ評価：2点

私には健康面での不安があり、安定した仕事もなく、家族の仲もあまり良くありません。

目標指標

「幸せな環境指標」

「幸せな環境指標」は、「田原市民が幸福を追求できる環境」を整えていくために何をどのようにしていきたいのかという「取り組みの方向性」と、目標に向けての取り組みが進んでいるかどうかという「進捗状況」を示します。



幸せな環境指標		参考値 (H25)	目標 (H34)
子ども	学校生活が楽しいと回答する生徒の割合（中学生アンケート）	64.2%	増加
	不登校児童の割合（学校基本調査、市内小中学生）	1.1%(H24)	減少
	自分や家族の健康で心配や不安があると回答する生徒の割合（中学生アンケート）	28.1%	減少
	自分の10年後の将来が楽しみと回答する生徒の割合（中学生アンケート）	77.7%	増加
社会人	田原市が住みやすいと回答する市民の割合（市民意識調査、20～59歳）	87.4%	増加
	自分や家族の健康状況が良いと回答する市民の割合（市民意識調査、20～59歳）	55.1%	増加
	完全失業率（国勢調査、20～59歳）	2.6%(H22)	減少
	地域（隣近所・地域住民・地域コミュニティ）での人間関係が良いと回答する市民の割合（市民意識調査、20～59歳）	28.3%	増加
高齢者	健康寿命（注）（市健康課算出）	男性 79.9歳 女性 84.1歳 (H22)	延伸
	安心・安全に暮らせる環境の現状について良いと回答する市民の割合（市民意識調査、60歳以上）	29.1%	増加
	社会貢献・生涯学習活動に対する自分自身の取り組み状況に満足していると回答する市民の割合（市民意識調査、60歳以上）	15.0%	増加
	地域（隣近所・地域住民・地域コミュニティ）での人間関係が良いと回答する市民の割合（市民意識調査、60歳以上）	35.6%	増加

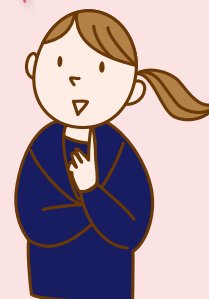
（注）健康寿命：健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと

幸せは笑顔から 目標指標「みんなで笑顔指標」

中学生アンケートと市民意識調査の質問『今現在、あなたの「幸せ」の程度を0～10点で評価すると何点ですか？』の回答で、中間の5点より低い点数を付ける人を「幸せではないと感じている人」としています。

田原市民みんなが幸せを感じ、毎日笑顔になれるように「幸せではないと感じている人」の割合の減少を目指します。

みんなが
笑顔に
なれるように！



	参考値(H25)	目標(H34)
0～4点と回答する人の割合	11.5%	減少



行政の取り組み

行政各部署の取り組み目標！

各部署一つ、
代表的な
取り組み目標を
紹介します。



幸せづくりを進めていくための行政各部署の取り組み目標です。

政策推進課



企業立地推進室



広報秘書課



総務課



人事課



財政課



契約検査課



税務課



収納推進課



市民協働課



市民課



保険年金課



環境衛生課



エコエネ推進課



清掃管理課



赤羽根市民センター



高齢福祉課



地域福祉課



子育て支援課



健康課



田原福祉専門学校



農政課



農業公園管理事務所



営農支援課





行政各部署の取り組み目標は、ここに記載したものだけではありません。
この代表的な取り組み目標を入り口として、全ての部署が全ての取り組みに「幸せづくり」の意識を持ち、幸福度の高いまちづくりを進めていきます。

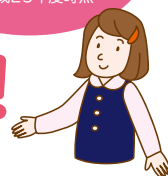




行政の取り組み

職員一人ひとりの取り組み目標！

その一部を
紹介します。
※平成25年度時点



職員一人ひとりも、「幸せづくりチーム田原」の一員です。職員全員が日常的に幸せづくりの意識を持って取り組みを進めていけるように、職員一人ひとりが自分自身の取り組み目標を設定しています。

田原市博物館 天野 敏規

郷土に対する愛着が深まるように、市内に数多く存在する文化財資源をより多くの方々に紹介します。

広報秘書課 大林 由美子

市民にもっと身近で、親しんでもらえるような「愛され広報」届けます。

福江保育園 中泉 桃子

子どもにとって保育園が楽しい場所に、保護者にとって安心して預けられる場所になるような関わりをしていきます。

消防署 渡邊 孝充

救急出動時に、傷病者や家族に安心してもらえるような声掛けや対応をします。

農政課 千賀 達郎

家庭の食卓を、美味しく安全な渥美半島産の農産物でいっぱいにします。

街づくり推進課 保木井 亜紀子

思わずにっこりするような、癒しの場所となる公園を整備します。

職員一人ひとりは、業務を通じて「幸福度の高いまちづくり」を目指します。職員全員が取り組み主体の一人であるという認識を持って、日常的に「市民の幸せ」「地域の幸せ」「田原市の幸せ」を意識できるよう「職員一人ひとりの取り組み目標」を掲げました。

なお、この「個人の取り組み目標」は所属部署の配置転換や、役割の変更、個人の取り組みの達成状況により変わってくるため、随時見直しを行います。

●職員の名札に…

「職員一人ひとりの取り組み目標」は、各職員の名札の裏面に入れて携帯し、普段から目にすることで、意識啓発・取り組みの推進につなげていきます。



参考イメージ



行政の取り組み

取り組みをもっと進めるために

職員の幸せ体験を増やす取り組み

「市民の幸せづくり」のためにさまざまな取り組みを進めていくことは、行政職員の役割です。しかし職員自身が業務へのやりがいや、幸せを感じられなければ「行政の幸せづくり」は進みません。

そこで各職員がやりがいを感じ、幸福感を高めながら、行政の幸せづくりを進めていくために、これまでの業務の中で経験した「幸せを感じた体験」の情報を職員全員で共有します。

幸せ体験を職員一人だけではなく、みんなで増やしていく意識を持つことで、幸せを広げ、市民や周りの職員の幸福感を高めていきます。みなさんの周りで大きく広がった幸せを、積み重ねていくことで田原市全体の幸せへとつなげていきます。

例えば、私の幸せ体験は・・・

地区の農道整備の用地交渉で・・・

地域の役員と用地交渉を行った際に、なかなか承諾を得られなかった地権者の方から、「個人的には工事に納得できないが、みんなで使う道路だから協力する」と言っていただきました。また、その数年後、その方から「あの時、お前に押し切られてよかった。道路が使いやすくなった」と笑顔で言葉を掛けていただいたことです。

同じ目的を持って、同僚や地域・業者の方と一緒に仕事をやり遂げられた達成感と、行ってきた仕事について、市民からよい評価をいただけたことが嬉しかったです。



花井 康臣
農政課(当時)

図書館の企画展を任されて・・・

大きな企画展の取りまとめ役を任された際に、チームがうまく機能して、よい展示ができたこと。利用者の方からもよい反応をいただいて、成功を収めたことです。

チームがうまく機能すると、プラス思考の空気が生まれて、各自が積極的に動いてくれるようになり、忙しく働いていても楽しい気持ちになりました。

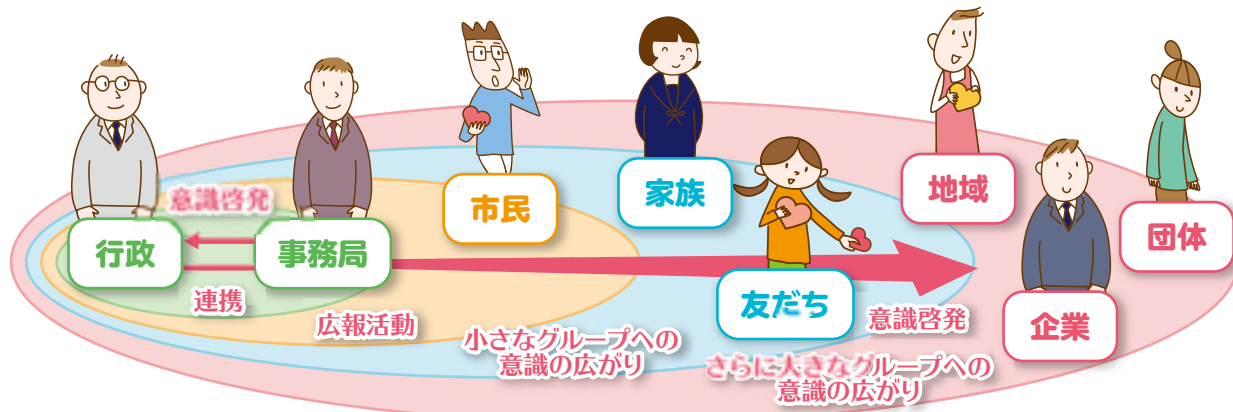
取りまとめ役として、みんなでこの気持ちを共有できたこと、やり遂げたことを利用者・上司・同僚から評価してもらえたことが、この上ない喜びでした。



辻 一生
図書館(当時)

幸せづくりが広がっていくために(意識啓発)

幸せづくりの取り組みは、「市民」と「行政職員」の「幸せづくりの意識」が出発点となります。その意識の醸成のためには、幸せづくりの取り組みを普段から目にするのが重要です。事務局(政策推進課)は、行政職員に向けた意識啓発を行いつつ、市民に向けた広報活動、イベントなどの機会を捉えた啓発活動を行っています。そして、個人の意識から、小さなグループ、さらに大きなグループへと意識の広がりを図っていきます。





市民の取り組み

幸せづくりの主役は自分自身！

市民一人ひとりが思い浮かべる「幸せのかたち」は、それぞれ異なります。その全ての幸せを行政が実現していくことは不可能です。

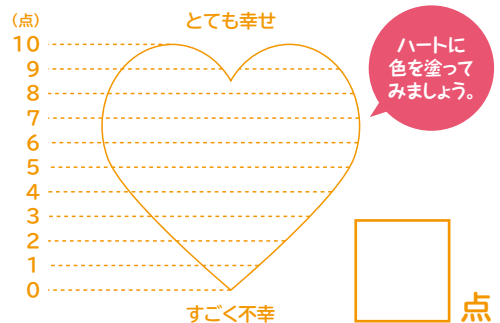
あなたの幸せを実現していくのは、あなた自身の力です。自分の幸せに向けて、できることから始めてみましょう。

STEP1

自分にとっての「幸せ」って何だろう？
家族の笑顔、大好きな趣味、おいしいご飯・・・
あなたの幸せを具体的にイメージしてみましょう！

■あなたが思い浮かべる幸せのイメージを書き出してみましょう。

■あなたの今の幸せの状態を10点満点で評価してみましょう。



STEP2

あなたが思い浮かべた幸せを実現するために、
あなた自身に何ができるか考えてみましょう！
例えば・・・明日からできることってなんだろう？

■あなたができることを書き出してみましょう。

STEP3

小さなことでもよいので、
できることからやってみよう！

■どれくらいできたか自分で評価してみましょう。

がんばった成果が見えると、毎日楽しく続けられます。表を作ってみたり、がんばれた回数分のシールを貼ってみたりと、いろいろ工夫して家族みんなでやってみましょう！

色を塗って活用してください。

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
 Good Bad	 Good Bad	 Good Bad	 Good Bad	 Good Bad
6日目	7日目	8日目	9日目	10日目
 Good Bad	 Good Bad	 Good Bad	 Good Bad	 Good Bad

個人の幸せづくりの取り組みが、市民全員に広がっていくことで「みんなが幸福を実現できるまち」に近づきます。

そのため、自分の幸せづくりを意識し、行動する市民を増やしていくことを目標とします。

自分自身の幸せづくり目標指標 「意識の広まり指標」

市民意識調査の質問『あなたは、普段から自分にとっての「幸せ」とは何かを考えていますか？』の回答で、「している」「ややしている」と答える人の割合の増加を目指します。

	参考値(H25)	目標(H34)
普段から「幸せ」を意識している市民の割合	54.9%	増加

自分自身の幸せづくり目標指標 「行動の広まり指標」

中学生アンケートの質問『あなたは、普段から自分が「幸せ」になるために何かしていますか？』の回答で、「している」と答える人の割合の増加、市民意識調査の質問『あなたは、普段から自分が「幸せ」になるための努力をしていますか？』の回答で、「している」「ややしている」と答える人の割合の増加を目指します。

	参考値(H25)	目標(H34)
「幸せ」になるために何かしている生徒の割合	34.5%	増加
「幸せ」になるための努力をしている市民の割合	58.7%	増加

中学生と市民のみなさんの声

あなたの「幸せ」を高めるために何かしていますか？



イヤなことがあっても、自分で自分を
をはげまして、将来イコトが来る
ようにがんばっています。

福江中学2年生

他の人の机を戻してあげるなど、
気を配るようにしています。

東部中学2年生



どんなことにも「ありがとう」と
言うようにしています。

田原中学2年生

夢をかなえるために、いろいろ
な人とコミュニケーションをと
るようにしています。

伊良湖岬中学2年生



相手の立場を考えた「思いやり」
を意識しています。

市民チーム
永田 みよ江さん



みんなが「絆」を感じ、「楽しいまち・
住んでよかった」と感じられる「まち
づくり」活動をしています。

市民チーム
川崎 政夫さん



「心の静かさ」や「足るを知る」と
いう気持ちを持つことを心掛け
ています。

市民チーム
小久保 賢二さん



市民の取り組み

大切な人や周りの人たちも幸せに！

市民一人ひとりの幸せの実現は、その人自身の努力によるものですが、周りの人からの言葉や行動で、嬉しい気持ちになったり、元気が出たり、幸せな気持ちはさらに高まっていきます。

あなたの普段の生活や仕事、活動などを通じて、あなたの大切な人や周りの人たちに対して、どのような幸せをつくり出すことができるのか考えてみましょう。そして、できることから始めてみましょう。

STEP1

あなたがだれかにしてもらって嬉しかったこと、幸せだったことって何だろう？
嬉しかった言葉、困っていた時に助けてもらったこと・・・
あなたが感じた幸せを思い出してみましょう！

■あなたがだれかにしてもらって嬉しかったことを書き出してみましょう。

STEP2

あなたの普段の生活や仕事、活動などを通じて、だれにどんな幸せを感じてもらうことができるか考えてみましょう！
例えば、家族、友達、同僚、お客さん、隣近所の人たちには・・・

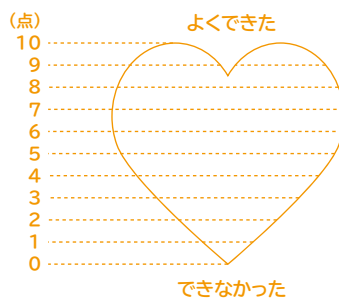
■あなたができることを書き出してみましょう。

STEP3

周りの人とあなたの幸せについて小さなことでもよいので、できることからやってみよう！

■どれくらいできたか自分で評価してみましょう。

■あなたは周りの人をどれくらい幸せにできたでしょうか。
10点満点で評価してみましょう。



ハートに色を塗ってみましょう。

点

■毎日のがんばった成果をチェックしてみましょう。

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目
Good Bad	Good Bad	Good Bad	Good Bad	Good Bad	Good Bad	Good Bad	Good Bad	Good Bad	Good Bad

色を塗って活用してください。

あなたの大切な人たち、周りの人たちが幸せであれば、あなた自身も幸せな気持ちになるのではないのでしょうか。お互いの幸せが相乗的に高まり、さらに、大切な人から大切な人へと幸せが広がることで、田原市民みんなの幸せへとつながっていきます。

そのため、日常的に大切な人たちへの幸せづくりを意識し、行動する市民を増やしていくことを目標とします。

大切な人たちへの幸せづくり目標指標 「意識の広まり指標」

市民意識調査の質問『あなたは、普段から自分だけでなく周囲が「幸せ」になるように意識していますか？』の回答で、「している」「ややしている」と答える人の割合の増加を目指します。

	参考値(H25)	目標(H34)
自分の周りの人が「幸せ」になるよう意識している市民の割合	64.4%	増加

大切な人たちへの幸せづくり目標指標 「行動の広まり指標」

中学生アンケートの質問『あなたは、普段の生活のなかで、自分の周りの人に「幸せ」を感じてもらうために何かしていますか？』の回答で、「している」と答える人の割合の増加、市民意識調査の質問『あなたは、あなたが行う仕事や活動、普段の生活などを通じて、周囲を「幸せ」にする取り組みを行っていますか？』の回答で、「している」「ややしている」と答える人の割合の増加を目指します。

	参考値(H25)	目標(H34)
自分の周りの人に「幸せ」を感じてもらうために何かしている生徒の割合	30.7%	増加
仕事や活動、普段の生活を通じて、周囲を「幸せ」にする取り組みを行っている市民の割合	47.8%	増加

中学生と市民のみなさんの声

あなたの周りの人に「幸せ」を感じてもらうために何かしていますか？



言葉に気をつけて、相手の今の気持ちを考えて行動しています。

野田中学2年生



地域の人に、自分からあいさつしています。

泉中学2年生



母が仕事で遅くなったとき、帰ってくる前に、洗濯物をたたんだり、お風呂を入れたりしています。

田原中学2年生

笑顔で接して、困っている人がいたらやさしく助けてあげたり、話をするようにしています。

赤羽根中学2年生



いろんな人がいて、いろんな考えがある。多様性を受けとめ、目の前の人気持ちを想像するようにしています。

市民チーム 清水 直美さん



地元のロケーション(朝日や夕陽)の案内や、「体験」させてあげること。採れたて野菜の直送などを行っています。

市民チーム 山本 達弥さん



日ごろのあいさつのあとに一言必ず付け加えるように心掛けています。

市民チーム 本多 ちえ子さん



PLAN推進のために これからどうしていくの？

地図にない「住民の幸せ」を探して

「住民の幸せ」を行政目標とし、実現に向けて進むことは、「地図にない山」の頂上を目指すような、手探りの取り組みです。

「住民の幸福感」を高めるために、国や自治体、研究機関が「幸せに関する指標」の研究を進めていますが、政策と幸福度の関係は単純に計算できず、答え（住民の幸せにたどり着くための道筋）はまだ見つかっていません。



ガイドブックを片手に「幸せづくりチーム田原」出発

「田原市のまちづくりをどうしていくか？」

総合計画改定の際に、市民のみなさんと行政が検討して出した結論は「市民の幸せ」に向け、「みんなが幸福を実現できるまち」を目指すということでした。市民の幸せにつながる明確な「答え」がないなかで、田原市としては「答えを探す研究」よりも、「まず歩き出してみる」ことが重要と考え、最初の一步を踏み出すためのガイドブック「田原『幸せづくり』PLAN」を策定しました。



目標指標を目印に 進み具合と方向性を確認

しかし、歩く方向が間違っていたら、どんなに歩き続けても目的地の「市民の幸せ」にはたどり着けません。

PLANの目標指標を目印として「市民の幸せ」に近づいているかどうか、「取り組みの方向性」が合っているかどうかを定期的に確認する必要があります。

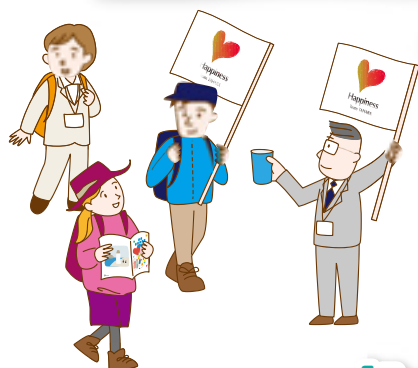
そのため、3年ごとに「子どもへのアンケート調査」や「市民意識調査」を実施して、指標数値やその時々市民の幸福感を把握し、必要に応じてPLANの見直しを行います。



歩みを止めないために

田原市が目指す目的地に到達するためには「PLANを作った」だけで終わらず、ガイドブックを片手にしっかりと歩き続けていくことが重要です。

市民と行政とが、普段から幸せづくりの意識を持ち、取り組みを進めていけるように、積極的に幸せづくりの意識啓発を行っていきます。



「みんなが幸福を実現できるまち」に向かって、
市民と行政がそれぞれの役割分担のもとで、手を取り合い
一つのチームとなって、一步一步進んでいきましょう！

資料編

PLAN策定の流れ





資料編

総合計画における市民幸福度の位置づけ

田原市の「幸せづくり」は、平成25年3月に策定した「改定版 第1次田原市総合計画」に基づいて取り組みを進めています。まちづくりの指針となる総合計画のなかで、「市民幸福度」の取り組みがどのように位置づけられているかを整理します。

《まちづくりの理念》 みんなが幸福を実現できるまち

●理念に込めた思い…

「幸福」は人によってそれぞれ違います。幸福は、自分の思う幸福を自分の手で「実現」するものであり、他の人から与えられるものではないと考えます。そして行政の役割は、みなさんが自分の手で自分の幸福を実現することができる環境づくりを進めていくことだと考えています。時代が変わっていても、その時代に合った「田原市民が幸福を追求できる環境」をつくるため、努力していきます。

《将来都市像》 うるおいと活力のあるガーデンシティ

《まちづくりの方針》

行政運営の基本的な考え方

- 方針1 「市民の幸福感」を根幹に据えたまちづくり**
市民が日々の暮らしの中で幸福感を得られるように、市民の幸福感を都市基本指標に位置づけて、すべての取り組みにおいて市民幸福度の向上を目指す。
- 方針2 多様な主体との連携により成長し続けるまちづくり**
- 方針3 参加と協働による持続可能なまちづくり**

《土地利用の方針》

将来都市像の実現を図る上で配慮すべき土地利用の方針



《都市経営指針》

- 1 財政計画**
- 2 都市基本指標** 計画の進捗状況や方向性を確認するための指標
 - ① 市民幸福度指標** (注)指標数値は未設定
「田原市民が幸福を追求できる環境」の整備に向けた取り組み、市民の幸福の状態を測る「市民幸福度指標」等を設定するため、検討組織を設置する。なお、人の幸福感は時代や年齢、個人が置かれている状況によって大きく変化するため、継続的に調査検討を進める。また、取り組みの重点化を図るなど、指標により得られた評価を、政策に確実に反映していく。
 - ② 人口関連指標 ③ 経済関連指標 ④ 財政健全度指標**

《重点プロジェクト》

田原市の課題の克服を目指し、将来都市像の実現を図るため、全分野を横断して重点的に取り組む7つのプロジェクト

《分野別計画》

7分野における「主要プラン」「市民協働モデル事業」、40施策における「分野施策」

《計画推進のために》

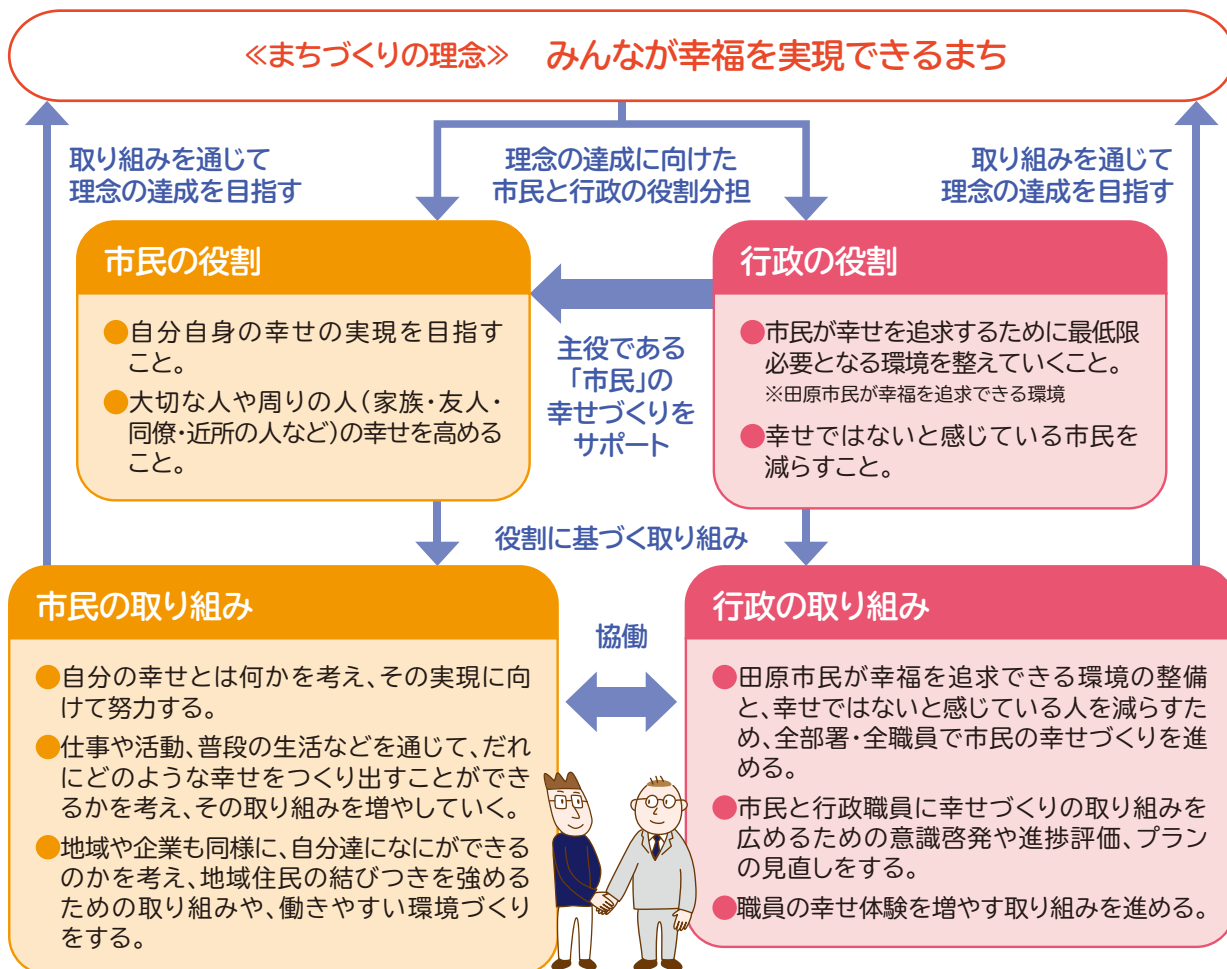
- 1 推進体制の充実**
- 2 時代に即した田原市民の幸福の追求**
 - ① 「田原市民の幸福」に関する調査検討**
 - ② 「市民の幸福感」を根幹に据えた施策の展開**
- 3 効率的な行政運営の推進**



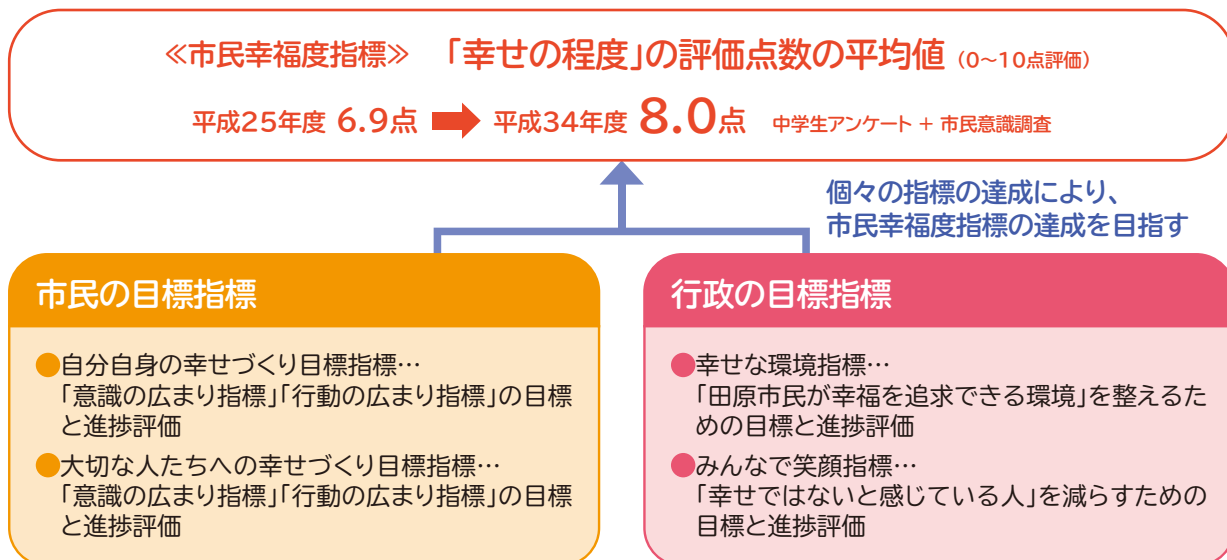
資料編

取り組みと指標の体系イメージの整理

取り組みの体系イメージ



指標の体系イメージ





PLAN策定に関わって いただいたみなさん



PLANを策定するにあたり、
ご協力いただいた方々を
紹介します。

田原「幸せづくり」市民チームのみなさんに聞きました。

あなたにとっての「幸せ」とは何ですか？



川崎 政夫さん

家族・仲間
みんなで「良かった」
探し」



加子 幸子さん

健康で♡
心が穏やかな
こと

人と自然・
文化のまち

渡會 登汐さん



横田 克彦さん

まずは「健康」かな。
そして「行くところがある」
「用事がある」の生きがい
かな。

他者を助けながら
幸せを求めて行く！

加藤 信雄さん



自分の思いが
相手に伝わること

鈴木 一敏さん



鈴木 吉春さん

いろいろな人と
理解しあえること



松本 紀久江さん

健康で生活でき
あつやとが言える毎日



山本 達弥さん

家族が地域(地元)で
楽しく暮らせる事。

清貧の生活

小久保 賢二さん



家族全員の健康と、
自分の行動が地域に
少しでも役立つこと!!

本田 則子さん



本多 ちえ子さん

いじわるなやつで
いられること



清水 直美さん

ありのままの自分が
表現でき、それを
受けとめてくれる人が
いること

個人の幸せと社会の幸せが
つながったとき



永田 みよ江さん



佐治 良雄さん

安定した世の中



別所 興一さん

自分の歴史・文学の研究が、
多少とも地域の人々の共感・
理解を得られること。

公募によって集まっていたいただいた16名の市民から構成する田原「幸せづくり」市民チームのみなさんには、「田原市民にとつての幸せな環境」や「環境づくりに必要な取り組み」、「幸せづくりの意識を広めていくためのアイデア」などについて、多くの貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました！

事務局 政策推進課

政策推進部部長
横田 直之政策推進部次長兼
政策推進課課長
中村 匡主任
牧野 直弘

チーム「幸せ」のみなさんに聞きました。

あなたの「幸せづくり」のために、明日から何をする？

会話すること
(相手の話をよく聞くこと)健康福祉チーム
大谷 正雄市民環境チーム
小原 大昇とりあえず
やって
みる健康福祉チーム
尾澤 理恵子笑顔で
あいさつ家族が
毎日笑顔で
いること都市整備チーム
河合 欽史家族の会話の
時間を増やす市民環境チーム
河合 義弘ネガティブな
ことを言わない。都市整備チーム
渡辺 加奈子産業振興チーム
伊藤 貴己

いつでも誰とでも

笑顔!!

教育チーム
辻 一生誰もが学び、楽しめる
居場所をつくる。都市整備チーム
中村 隆憲

笑顔!

消防防災チーム
中神 賢産業振興チーム
山田 正勝小さな喜びを
みつけて、重ねていく。総合チーム
彦坂 幸子毎日と健康で
前向きに過ごす総合チーム
牧野 直弘昔、教えられた社会
生活でのマナーを次世代
に伝えます。教育チーム
永田 敬一一日一度は
家族6人揃って笑顔に!!
😊😊😊😊😊😊

全力で仕事します!

それが市民の皆さんの「幸せ」に
繋がる自信があるからです!消防防災チーム
松本 孝章明日から、
早めに家へ
帰ります!政策推進課
(左から順に)
矢口 美英
平井 堅一郎
花井 康臣
大武 道子
渡邊 康統
天野 信子

市役所各分野の職員15名から構成するチーム「幸せ」のみなさんには、市民チームと一緒にワークショップに参加し、多くのご意見をいただいたほか、市役所各部署との調整・取りまとめなど、PLAN策定の全般にわたりご協力をいただきました。ありがとうございました!



田原『幸せづくり』PLAN

発行:平成26年3月

PLANに対するご意見・お問い合わせ先

発行者:田原市 編集:政策推進部政策推進課

〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1

TEL:0531-23-3507 FAX:0531-23-0669 E-mail:seisaku@city.tahara.aichi.jp